SUMA GAKUEN

2021年3月22日(月)

K2学年
オンライン授業報告

SUMA GAKUEN

目次

1. オンライン授業のメリット/デメリット

2. これまでに行った効果的な工夫

3. 反省点・改善点

4. 今後の展望

1.オンライン授業のメリット/デメリット

SUMA GAKUEN

1-①　教員-生徒 双方のメリット

- 感染のリスクを減らせる
- 警報/災害/学級閉鎖時も授業ができる
- 受講人数の上限がない
- 不登校傾向の生徒でも授業が受けられる
- 資料の共有が容易にできる
- ITリテラシーが向上できる
- 集会/説明会の実施が容易になる

1.オンライン授業のメリット/デメリット

1-②　教員側のメリット

- 複数のクラスで同時に授業を展開できる
- 複数学年での講座を展開できる
- 板書する時間が省略できる
- 休日でも個人指導が可能
- 動画を共有しやすい
- リスニングを大人数に同時配信できる

1.オンライン授業のメリット/デメリット

1-③　生徒側のメリット

- 自分のペースで勉強を進められる
- 何度も繰り返し視聴できる
- 通学時間を省くことができる
- 黒板を真正面から見ることができる
- 教科書の該当範囲がわかりやすい
  （画面共有の際）

1-④　特に多かった意見（メリット）

時間/場所/人数に
とらわれない指導の実現

- 休日や夜間でも添削・質問対応が可能
- stream配信によりオンデマンドで授業を視聴
- 大人数の講座も同時に展開可能
- 動画視聴、添削、画面共有など多様な指導

1.オンライン授業のメリット/デメリット

1-⑤　教員-生徒 双方のデメリット

- 通信環境に左右されやすい
- 電子機器の長時間利用で健康に影響する
- 自分で考える習慣のない生徒の学習成果が落ち、上位層との差が広がる
- 45分授業のため、対面より進まない
- 体を大きく動かす授業の実施が困難

1.オンライン授業のメリット/デメリット

1-⑥　教員側のデメリット

・生徒の様子が伝わりにくい
（ノート、プリントが見えない）
・出欠確認に時間を要する
・課題提出の徹底に労力を要する
・通信機器の習熟度で授業の質に差が出る
・確認テストの実施が難しい

1.オンライン授業のメリット/デメリット

1-⑦　生徒側のデメリット

・通信環境の問題で、途中で授業に参加出来なくなる

・集中力の維持が難しい

・質問が気軽にしにくい

１.オンライン授業のメリット/デメリット

１-⑧　特に多かった意見（デメリット）

Ｋ２学年教員が危機感を抱くポイント

授業内容定着率の低下

- 活用できた生徒とそうでない生徒で大きく差が開いた
- オンライン授業で実施した分野は、模試での得点が明らかに低い

2.これまでに行った効果的な工夫

２-①　Ｋ２学年の取り組み その1

画質向上と操作性の両立

OBS studioアプリを用いた画面共有により、スムーズな配信を実現

※キャプチャーボードを使用しビデオカメラをパソコンに接続

2.これまでに行った効果的な工夫

2-①　Ｋ２学年の取り組み その1

画質向上と操作性の両立

【課題点】

・iPadでの配信は画像が多少カクつく

・パソコンに直接ビデオカメラをつなぐと、パソコンの動作が遅くなる

⇒パソコンを操作しながら質の良い動画配信が困難、、、

2.これまでに行った効果的な工夫

2-①　Ｋ２学年の取り組み その1

画質向上と操作性の両立

【改善策】※特に学年集会/保護者会で活用

パソコンにビデオカメラを接続

↓

ビデオカメラの画像をOBS studioアプリで
デスクトップに表示

↓

その画像をZoomで画面共有

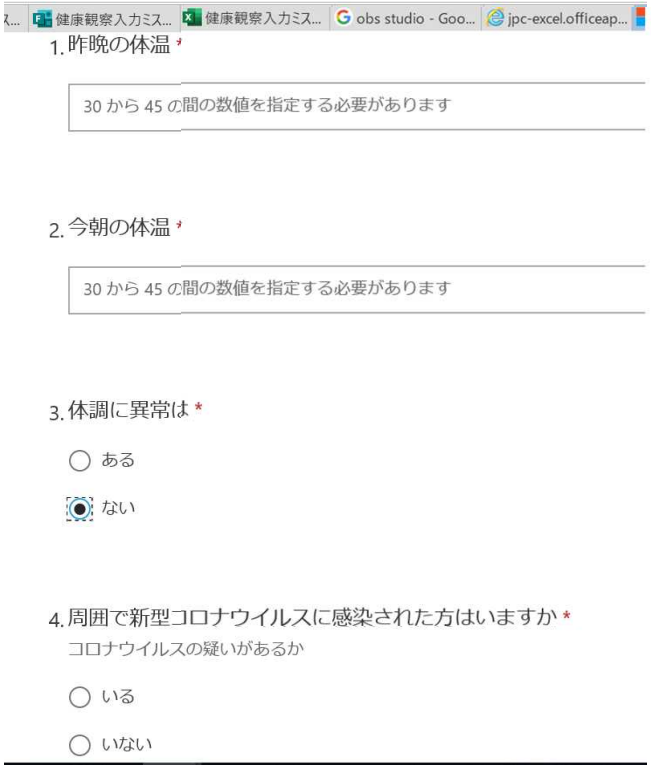
スムーズなパソコン操作と画質向上を両立！！

2.これまでに行った効果的な工夫

2-②　Ｋ２学年の取り組み　その2

健康観察の徹底

生徒入力form



教員確認form

D	E	F
凡例→	体温	体調
今日	昨日	2日前
3/19	3/18	3/17
35.7→36.1///_	35.7→35.9///_	35.8—
36.4→36.1///_	36.2→36.4///_	36.3—
37.3→36.7///_	36.7→36.7///_	37.3—
35.7→35.9///_	36.2→36.3///_	35.8—
36.6→36.7///_	36.7→36.7/怠;//_	36.5—
36.6→36.7///_	36.8→36.7///_	36.7—
36.3→36.4///_	36.4→36.1///_	36.3—
36.2→36.9///_	36.2→36.1///_	36.5—
36.4→36.2///_	35.6→36.1///_	35.9—
36.2→36.4///_	36.1→36.4///_	36.3—
36.4→36.6///_	36.5→36.3///_	36.5—
36.5→36.2///_	36.6→36.4///_	36.5—
36.4→36.3///_	36.2→36.1///_	36.4—
36.2→35.9///_	35.9→36.1///_	35.9—
36.5→36///_	36.5→36///_	36.4—
36.3→36.4///_	36.4→36.3///_	36.4—

２-②　Ｋ２学年の取り組み その2

健康観察の徹底

- 毎朝８時入力の厳守
- 担任は９時までに部長に報告
- 休日、祝日も毎日必ず実施
- オンラインExcelにデータを貯蓄
  →提出状況・回答内容がクラスごとに
  過去２週間確認できるよう関数で整理

2.これまでに行った効果的な工夫

2-③　K２学年の取り組み　その3

MAのオンライン実施

生徒入力form

1. (1) を理解する；を識別する〔p.464，1802〕 *
(1 点)

- ① discern
- ② grind
- ③ resume
- ④ bounce

2. (2) に反抗する；を拒む〔p.466，1817〕 *
(1 点)

- ① defy
- ② insert
- ③ divert
- ④ stain

教員確認form

F	G	H	
合計点数	クイズのフィードバ	(1) (を) 熟考する;	点数 - (
20		① contemplate	
20		① contemplate	
20		① contemplate	
10		③ soothe	
20		① contemplate	
20		① contemplate	
20		① contemplate	
17		① contemplate	
15		① contemplate	
15		① contemplate	
20		① contemplate	
17		① contemplate	
20		① contemplate	
20		① contemplate	
20		① contemplate	
11		③ soothe	
9		② enrich	
17		① contemplate	
15		① contemplate	
18		① contemplate	
18		① contemplate	
18		① contemplate	
20		① contemplate	
11		③ soothe	

２-③　Ｋ２学年の取り組み その3

MAのオンライン実施

- オンライン授業100%、80%時毎日実施
- 健康観察と同時に毎朝配信
- formsで作成し、teamsの課題で配信
- 提出状況・回答内容をクラスごとに確認
- 単語コンテスト前/元旦には特別企画も

２-④　Ｋ２学年の取り組み その4

zoomを利用したリスニング練習

- 模試過去問をzoomの音声共有で配信
  ※「音声共有」を利用
- 100人以上が1度にリスニング練習可能
- 密を避けてリスニング講座が可能に
- 休日も練習可能に

2.これまでに行った効果的な工夫

2-⑤　その他：授業の進め方に関して

- 板書の字を大きく書く
- 生徒に積極的に発問する
- 写真、絵画を拡大して見れるようにする
- 模試過去問のスキャンをアップして生徒が閲覧できるようにする
- 体育でのBGM導入

2.これまでに行った効果的な工夫

2-⑥　その他：機材の使い方の工夫

デジタイザーペンを用いて画面に共有したプリントに書き込みながら授業

↓

読解のしかた、文章への
書き込みのしかたを体得させる

2.これまでに行った効果的な工夫

2-⑥　その他：機材の使い方の工夫

iPadのノートアプリGood Notes5やグラフ作成アプリGeoGebraを用い、正確な作図を見せる（画像割愛）

３.反省点・改善点

３-①　授業の進め方に関して

- 生徒によっては対面に比べて定着が悪い
- 説明中にチャットで質問を送る人がおり、授業が中断される
- 板書の字が小さくて読めない
- 発問をしても回答までにタイムラグが生じる
- 急遽オンライン授業となったとき、生徒の手元に教材やプリントがない
- マスク着用で話すと聞き取りにくい場合あり
- 家の中でできる運動の種類を増やす（体育）

３.反省点・改善点

３-②　機材の使い方に関して

・パソコンの操作がうまくいかない時にタイムロスが生じた

・ケーブルの破損による不具合が何度かあった

・iPadに傷やへこみがついた

・充電しながらの撮影で機材に負担がかかった

④今後の展望

4－①　授業の進め方に関して

・確認テスト、課題の提出を徹底する
・板書を大きく書く
・質問対応を受け付ける時間を設ける
・グラフ、図形は生徒が持っているデバイスで正確なものを見させる

④今後の展望

4-②　機材に関して

・各教室にプロジェクターとスクリーンを整備（希望）

・デジタイザーペンなど、周辺機器の購入

・機器の破損を防ぐ環境づくり

(制パソコン置き場の設置、iPadケース購入)

・「GeoGebra」など、制携帯に入れるべきアプリを再検討

④今後の展望

4-③　その他

- 「話を聞きノートをとる」こと以上の学習姿勢を涵養
- オンラインのみで配信する分野は、課題/確認テストで徹底的に定着させる
- オンライン/対面いずれかに固執しすぎず、効率的にハイブリッド
- ICT教育に関する研修会の実施
- 集会や講座でも有効に活用